

VISION BOOK

第9次中期経営計画

2022～2026

マスタートップラン

MESSAGE

「For all the students」の実現に向けて



学校法人
福岡工業大学 理事長
大谷 忠彦

Tadahiko Otani

今期で第9次を迎えた中期経営計画(マスタープラン)はコロナ禍の2021年6月より議論をスタートいたしました。テーマを「学校法人福岡工業大学のブランド力の確立と強化」とし、この予測困難な時代を生き抜く学生・生徒のため「学修者本位の教育の高度化」を最重要課題といたしました。

これから訪れる厳しい時代において本学園が選ばれ続けるために「柔軟性」と「強靭性」を持つつ、固定観念に捉われないデザイン思考で教員と職員が共に議論を重ねた結果がこの中期経営計画に凝縮していると考えています。

今後も本学園の経営理念である「For all the students～すべての学生生徒のために～」の実現に向けて、新しい教育付加価値を創出すべく、更なる改革に取り組んで参ります。

関係者の皆様にはこれまで以上のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 01 理事長メッセージ | 05 マスタープラン策定の組織・体制 |
| 02 建学の綱領・経営理念・行動規範 | マスタープラン策定委員会委員長メッセージ |
| 組織図 | 第9次マスタープラン(経営戦略概要) |
| 沿革 | 07 マスタープランの成果 |
| 04 理念体系図 | |
| 経営管理システム | |

建学の綱領

一、人類至高の精神、
基調として世界に雄飛する
人材を育成する
人材を育成する
一、宇宙の真理を探求し
これを実生活に応用して
社会に貢献する
一、学徒の品性を陶冶し
眞の国民としての
教養を啓培する

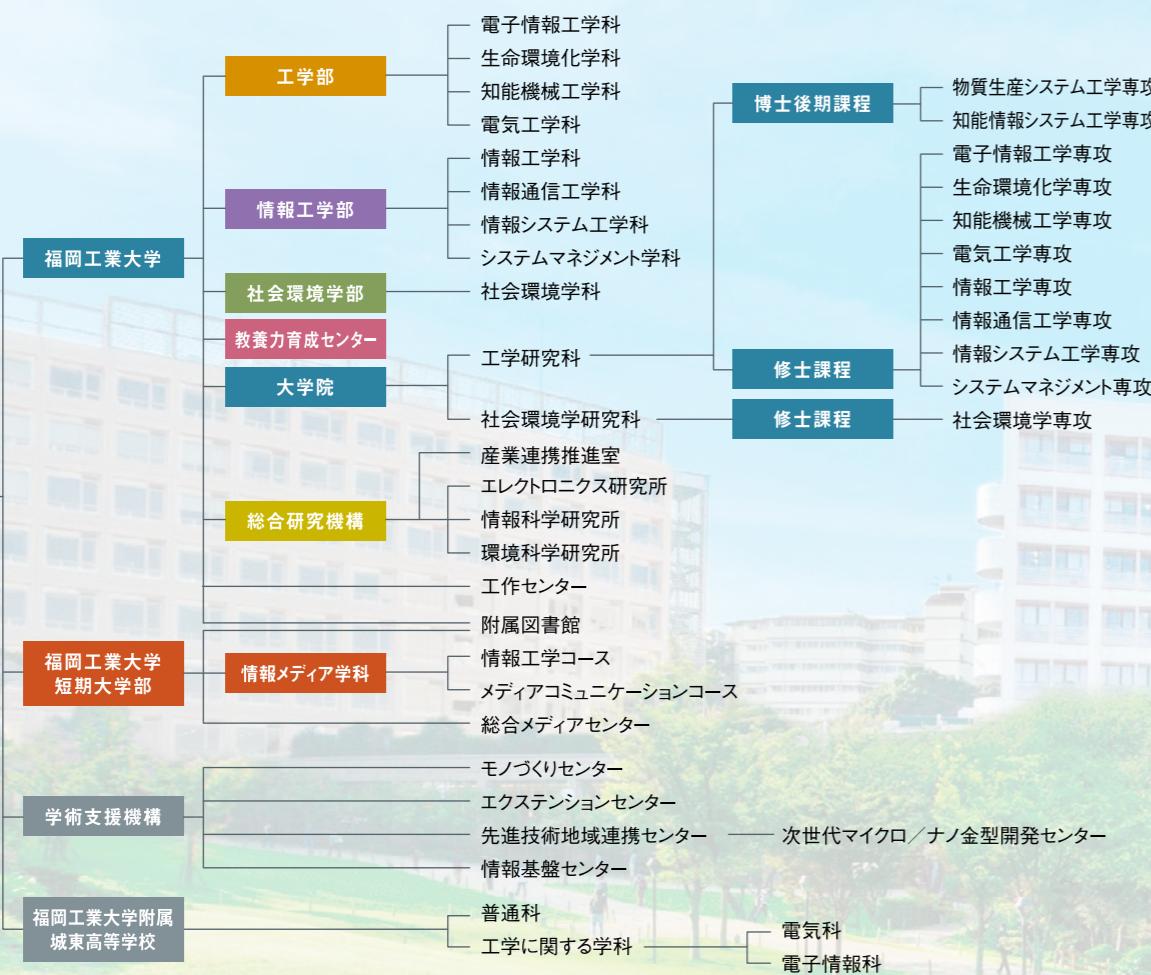
経営理念

For all the students ~すべての学生生徒のために

行動規範

Just Do It! 即断実行する

組織図



沿革

昭和29年(1954) 04月	福岡高等無線電信学校を創設	平成17年(2005) 04月	大学工学部／生命環境科学科開設 (機能材料工学科を改組)
昭和33年(1958) 04月	学校法人福岡電波学園福岡電波高等学校を開設	平成18年(2006) 04月	大学院／電子工学専攻の名称を 電子情報工学専攻に変更
昭和35年(1960) 04月	福岡電子工業短期大学を開設	平成19年(2007) 04月	大学院／社会環境学研究科修士課程開設 社会環境学専攻
昭和38年(1963) 04月	福岡電波学園電子工業大学工学部を開設	平成21年(2009) 04月	大学院／修士課程に生命環境科学専攻開設 (機能材料工学専攻を改組)
昭和41年(1966) 04月	大学の名称を福岡工業大学に変更	平成22年(2010) 04月	FD推進機構設置 12月 FITホール完成
	短期大学の名称を福岡工業大学短期大学に、 高校の名称を福岡工業大学附属高等学校に変更	平成24年(2012) 03月	塩浜総合グラウンド完成 08月 FITセミナーハウス(由布市湯布院町)完成
	学校法人の名称を福岡工業大学に変更	平成26年(2014) 04月	高校／I類特別選抜・II類特別選抜および 電気科・電子情報科スペシャリストコースを新設
昭和48年(1973) 09月	「新宮総合グラウンド」完成	平成27年(2015) 10月	FITアーニWEST コート完成
昭和63年(1988) 03月	平成元年(1988) 03月	平成28年(2016) 04月	FIT Link(附属図書館)改修完了
平成03年(1991) 01月	平成03年(1991) 04月		大学院工学研究科修士課程に情報システム 工学専攻及びシステムマネジメント専攻を開設 (理工学専攻を改組)
平成05年(1993) 04月	平成09年(1997) 04月		08月 「E棟」完成
			平成29年(2017) 08月 「F棟」完成
平成10年(1998) 04月	平成11年(1999) 02月	平成30年(2018) 04月	平成30年(2018) 04月 大学院工学部／生命環境科学科の名称を 生命環境化学科に変更
04月			平成31年(2019) 04月 大学院／生命環境科学専攻の名称を 生命環境化学専攻に変更
平成12年(2000) 10月	FITアリーナ(新体育館)完成	令和02年(2020) 04月	令和02年(2020) 04月 短期大学部／情報メディア学科を新設 (既存の情報メディア学科、ビジネス情報学科を廃止)
平成13年(2001) 02月	工学部・社会環境学部校舎「A棟」完成	07月 高校／「1号館(教育等)」新設	07月 高校／「1号館(教育等)」新設
04月	社会環境学部／社会環境学科開設	12月 高校／「体育館」・「連絡歩道橋」新設	
高校／名称を福岡工業大学附属城東高等学校へ変更			
完全5日制および2学期制を導入			
平成14年(2002) 04月	大学工学部／電子情報工学科の名称を電子情報工学科に変更 大学院／電子機械工学科の名称を能機械工学科に変更 短期大学の名称を福岡工業大学短期大学部に変更 高校／普通科普通コースを廃止、特進・進学コースをI類・II類へ 電子科を電子情報科へ名称変更		
平成15年(2003) 04月	大学院／電子機械工学専攻の名称を能機械工学専攻に変更 高校／普通科Ⅲ類を新設、制服リニューアル		
平成16年(2004) 01月	「B棟」完成 大学院／修士課程に情報通信工学専攻開設 大学情報工学部／管理情報工学科の名称を システムマネジメント学科に変更	07月 「D棟」完成	
04月			

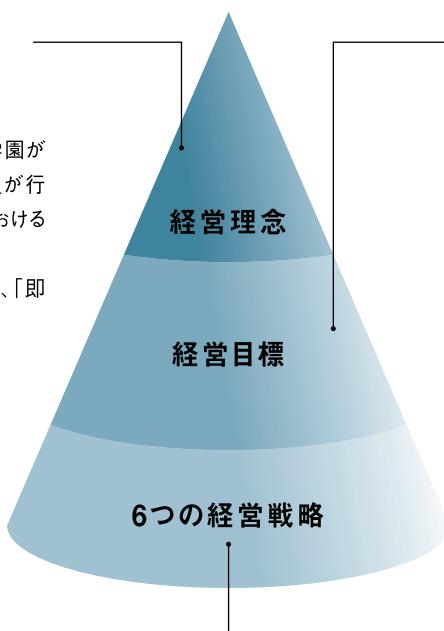


理念体系

For all the students ～すべての学生生徒のために

建学の綱領に立脚した経営理念は、本学園が教育機関であり続ける限り、すべての教職員が行う教育、研究および社会貢献等の諸活動における判断基準です。

また、学生生徒のためになることであれば、「即実行する(Just Do It!)」という行動規範へと繋がるものです。



情報・環境・モノづくり領域で教育研究力を発揮し、広く社会に貢献する。

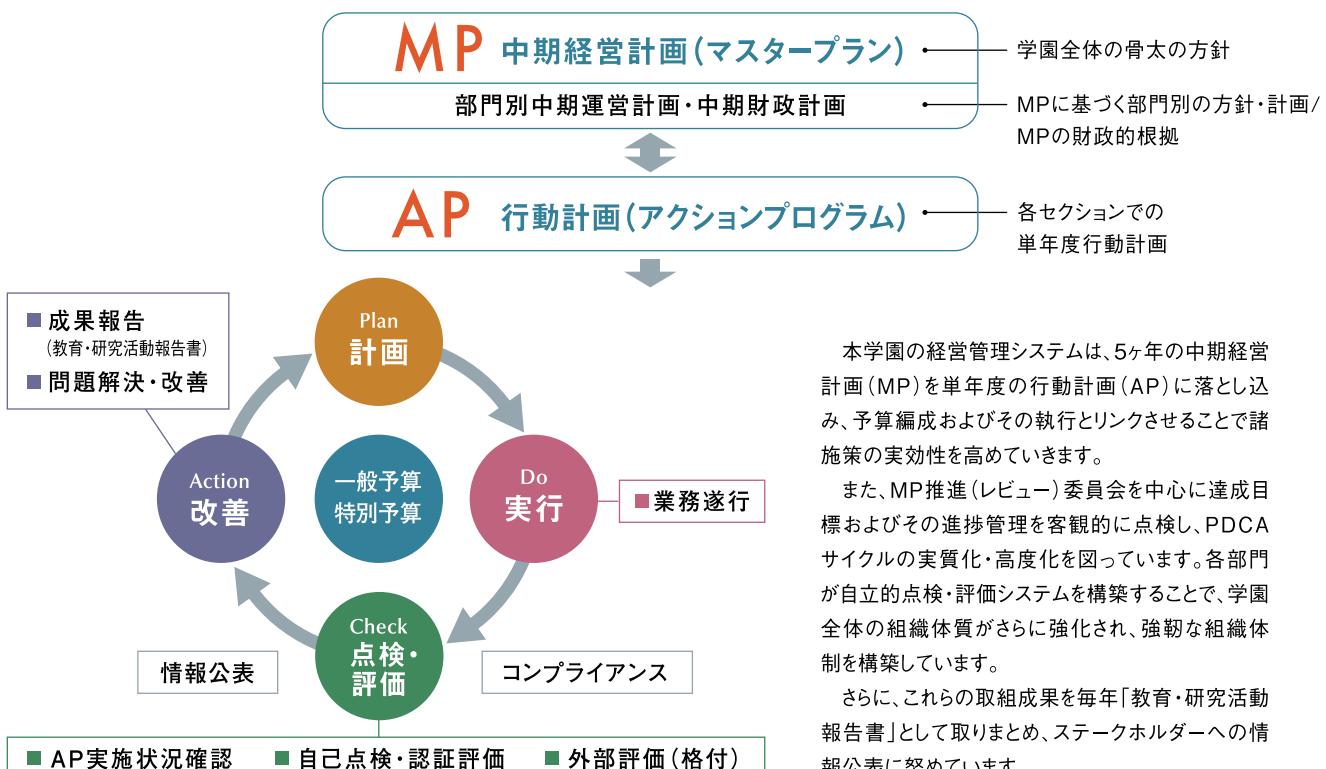
経営目標は、学園に求められる「教育」、「研究」および「社会貢献」という3つの機能の更なる高度化を目指すものです。

さらに、大学に求められる機能として、エンジニア、ゼネラリスト等の幅広い職業人養成、地域での生涯学習機会の提供、地域貢献、産官学連携等の社会貢献を含意するものあり、本学園が“全国トップクラスの教育拠点”となることを目標とするものです。

経営目標を具現化するために、6つの経営戦略を実行します。

戦略I	戦略II	戦略III	戦略IV	戦略V	戦略VI
広報および募集活動による質的転換によるステータス向上	学修者本位の教育による付加価値向上	特色ある研究によるプレゼンスアップ	キャリア教育と就職支援・進学支援による満足度向上	グローバル化と地域連携の推進	財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化

経営管理システム



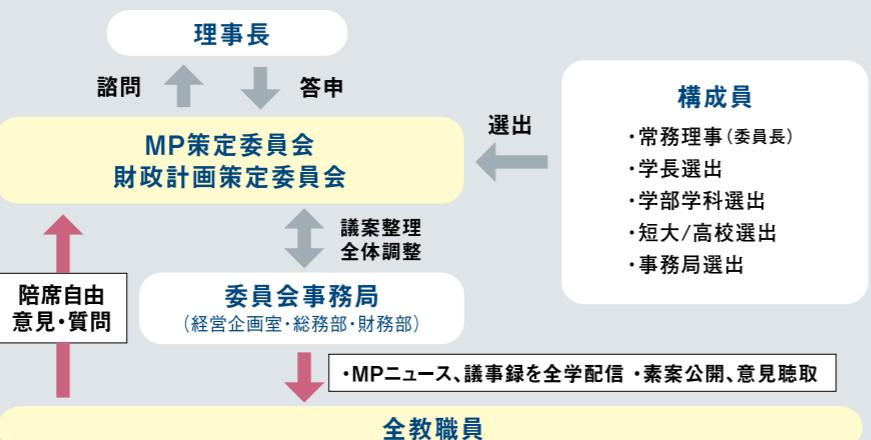
マスタープラン策定の組織・体制

MP策定の基本的考え方

- 1.組織、総合力を重視
- 2.全員参画、合意形成

具体的には…

- 会議への教職員の陪席自由
- 意見・質問も可能
- MPニュース(速報)を全学配信
- 議事録を全学配信
- MPの素案を全学公開、意見聴取
- 全学合同のキックオフ式開催など



学園を変える!!「中期経営計画」

第9次中期経営計画(マスタープラン)は、3設置校の教職員で構成された策定委員会において、約半年間の活発な議論を行い、全教職員に議論内容を共有しつつ、作り上げてまいりました。

第1次より24年間、マスタープランは単年の行動計画(AP)として具体化され、改革・改善を促進してまいりました。その結果、近年では、大学教育再生加速プログラム(テマIアクティブラーニング)での事後評価Sランクの獲得、私立大学等改革総合支援事業において高い選定率を継続、外部格付会社による「AA-」の評価獲得、企業による「採用を増やしたい大学」3年連続TOP5選出など、さまざまな指標で変革を遂げています。

これからも第9次マスタープランを具体的に展開し、更なる実質化を進め「選ばれる学園」に向かって、改革を進めて参ります。



マスタープラン策定委員会 委員長
常務理事 山下剛

第9次マスタープラン(経営戦略概要)

※計画期間:令和4年度～令和8年度(2022年度～2026年度)

経営戦略

I

広報および募集活動の質的転換によるステータス向上

II

学修者本位の教育による付加価値向上

III

特色ある研究によるプレゼンスアップ

IV

キャリア教育と就職支援・進学支援による満足度向上

V

グローバル化と地域連携の推進

VI

財政基盤の安定と組織ガバナンスの強化

1. 広報および募集活動の質的転換

大学

- 志願倍率九州1位
- 偏差値向上
- 新学科プロモーション
- データに基づく募集活動堅持
- 課題セグメントの攻略

大学院

- 入学時点から内部進学啓蒙
- 身近なロールモデルの提示

短期大学部

- 志願者、入学者の安定的確保
- 情報系短大のイメージ定着

城東高校

- 志願者・入学者の安定的確保
- スクールミッションの明確化

2. 入学制度改革

大学

- 大学入試のあり方に関する検討会議
提言、新学習指導要領への対応
- 量的拡大からの転換点としての入試の検討

短期大学部

- 総合型・学校推薦型の入試選抜方法の変更検討

1. 学修者本位の教育の高度化

大学・大学院

- 全学DPの早期策定
- 自己調整学習の促進と学修成果の可視化
- 主体的・自律的な学びに対応した学修支援の充実と高度化

2. 各部門の教育の独自性

大学

- 学修者本位の教育の具現化
- 3学部、教養力育成センターの独自性の進展

大学院

- 学修者本位の教育への転換
- カリキュラムの体系化と学修成果の可視化

短期大学部

- 新たな教育分野の展開とDXを活用した学修者本位の教育推進

城東高校

- 特色と魅力あふれる対面型高校
- 設置学科の再改編の検討

3. 教育研究支援組織

4. 学生支援

- 修学支援
- 多様な学生への支援
- 学生生活の活性化・人格形成支援

1. 大学院の魅力向上

- ジュニア研究者増加による研究力の強化
- 外部指標を利用したプレゼンスアップ
- 研究ネットワークのグローバル化

2. 研究の高度化

- 総合研究機構ビジョンの共用
- ・大学全体で研究力の底上げ
- ・先端的で卓越した研究によるイノベーション創出
- ・研究成果に基づく社会実装(実用化)の促進
- 産学連携の推進
- 研究活動支援
- 研究インフラの整備
- 総研事務室・産学連携推進室の機能強化

1. キャリア教育と就職支援の充実

大学

- 実就職率95%以上
- 教職協働による社会で活躍する人材輩出PDCAのスパイラルアップ
- 第一志望企業群への内定
- 学修者本位の教育で身に付けた能力の可視化
- 全学連携した企業開拓

大学院

- 学部卒生との明確な差別化
- 産業界との連携による多様なキャリアパスの確立

2. キャリア教育と就職支援・進学支援の充実

短期大学部

- 進路決定率90%以上
- 情報関連企業への就職支援
- 情報系大学への編入学支援

城東高校

- 国公立大100人(九大他15人)
- 就職試験1社内定率100%
- ミスマッチを起こさないためのキャリア教育
- 組織的な進路支援体制再構築

1. グローバル化の推進

- 海外協定校の開拓(50校)
- 正規留学生比率5%
- 学生派遣比率10%
- 教員がリーダーシップを発揮した教職協働での推進
- 学生のグローバルマインド醸成、英語教育のあり方検討
- 留学生受け入れに向けたハード面の拡充等の検討
- 短大、高校へのグローバル化に寄与する支援の検討

2. 地域連携の推進

- 地域と連携した教育研究活動の正課内外への拡大・進展
- 課外活動参加学生の評価のあり方検討
- 学園として地域連携を推進する組織の整備

3. 相互信頼の醸成

- 学納金収入の拡大
- 補助金収入の拡大
- 学費の合理的還元、研究費の合理的還元の進展
- 人件費の合理的配分の進展
- MPに基づく資金配分の強化
- 教育・研究の活性化と財政健全化に貢献する施設・設備投資の実行

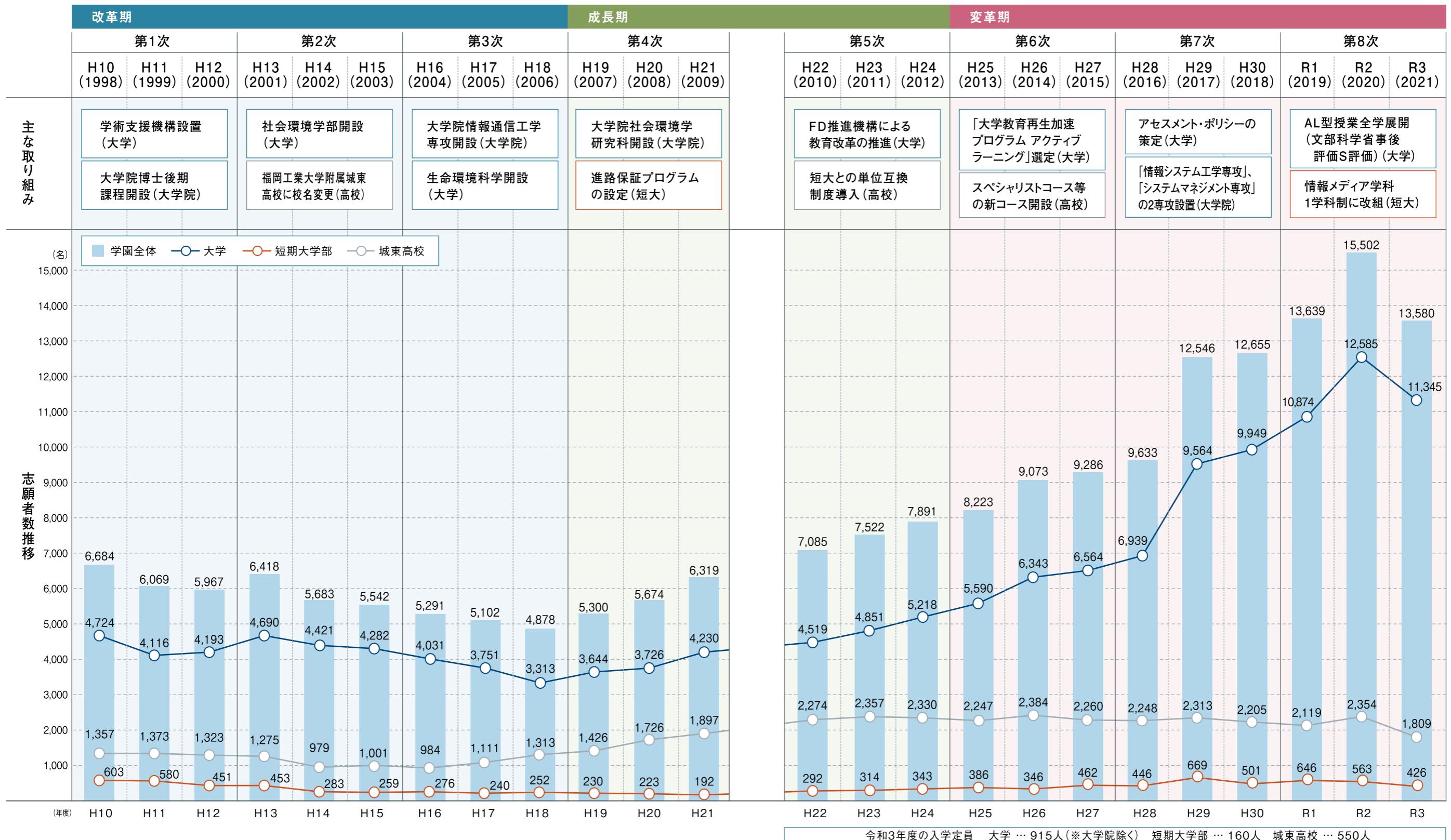
2. 組織ガバナンス強化

- 経営管理システムの実質化
- Society5.0の社会を生き抜く、強靭かつ柔軟な組織・ひと作り
- 教職員満足度の高い、働きがいのある環境作り

3. 情報共有と合意形成

- 情報共有と合意形成
- 積極的な情報公表

マスタープランの成果



令和3年度の入学定員 大学 … 915人 (※大学院除く) 短期大学部 … 160人 城東高校 … 550人

校舎等の竣工



福岡工業大学

工学部

- 電子情報工学科
- 生命環境化学科
- 知能機械工学科
- 電気工学科

情報工学部

- 情報工学科
- 情報通信工学科
- 情報システム工学科
- システムマネジメント学科

社会環境学部

- 社会環境学科

大学院

○工学研究科博士後期課程

- ・物質生産システム工学専攻
- ・知能情報システム工学専攻

○工学研究科修士課程

- ・電子情報工学専攻
- ・生命環境化学専攻
- ・知能機械工学専攻
- ・電気工学専攻
- ・情報工学専攻
- ・情報通信工学専攻
- ・情報システム工学専攻
- ・システムマネジメント専攻

○社会環境学研究科修士課程

- ・社会環境学専攻

福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

福岡工業大学附属 城東高等学校

普通科

電気科

電子情報科

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

福岡工業大学 短期大学部

福岡工業大学附属 城東高等学校

〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号
(経営企画室) TEL 092-606-0618(直)
FAX 092-606-8923



UNIVERSITY
ACCREDITED
2020.4 - 2023.3
このマークは日本大学委員会が
認定した大学に付与していると
記載された大学に付与するものです。



学校運営の安定性・積極性で
格付会社から高い評価を得る

R&I格付 **A+**

2020年から3年連続[A+]

2020年に9年連続の[A]から
[A+]に上昇

JCR格付 **AA-**

2021年から連続[AA-]

2021年に7年連続の[A+]から
[AA-]に上昇



本学公式HP内
「中期経営計画（マスタープラン）」